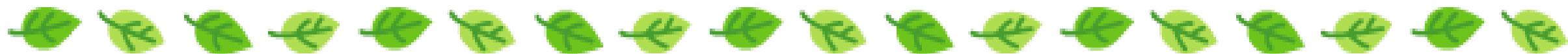


令和5年度第1回
在宅医療・ケア専門部会

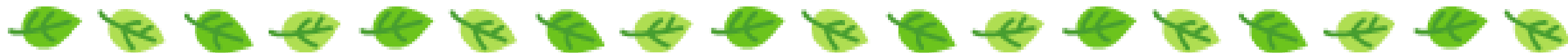
訪問看護より捉える在宅看取りと ACPについて

北海道総合ケア事業団 留萌地域訪問看護ステーション
所長 谷口 ゆかり



利用者様の看取りに関する要望

- 件数的には少ないものの「ギリギリまで自宅で過ごしたい」と要望される利用者様が存在。
- 「ギリギリまで在宅」を希望される利用者様は「病院を受診すると入院させられる」という思いをもつ場合もあり、体調不良でも受診に消極的。
 - 24時間体制は取っていない中で、自宅での療養が可能か見極めの難しさ

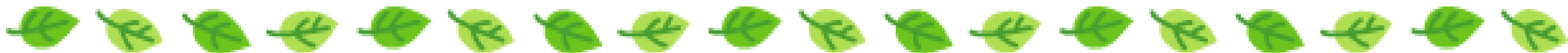


看取り支援で生じている難しさ

利用者様の意思を確認する主担当はどの職種
(ケアマネージャー？訪問看護師？)か？

<現状>

何となく、看護師が訪問の度に本人・家族と、今後の方向性
(どこまで治療をするのか？蘇生は行うのか)を話し合っている状況

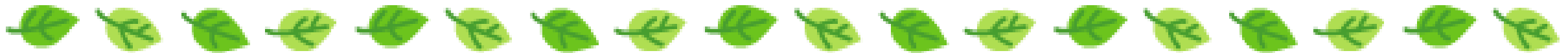


留萌管内における看取り支援の動向

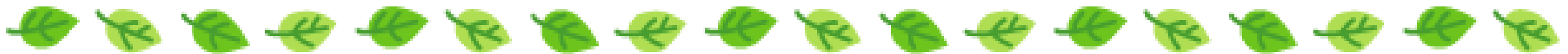
- 終末期における病院での入院期間の減少
- 本人の希望により在宅療養も可能に



確かに「看取り」という言葉を耳にする機会は増えたが、実際に在宅看取りの方が増加しているかは???



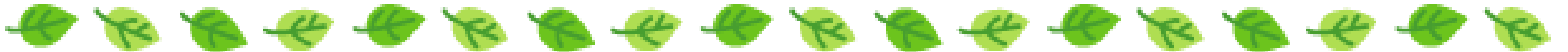
看取り支援における訪問看護師から
各分野・各機関へのメッセージ



「看取り支援」という漠然とした概念では、
支援者の困難感が高まる可能性も・・・



ACPという概念にまで落とし込んで対策を
考える必要性



留萌管内は各分野・各職種にACPが
浸透していない事が問題

解決策

保健所（事務局）に対して

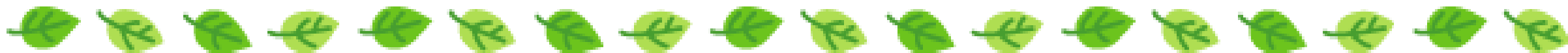
：ACPについて発信していく

市町村に対して

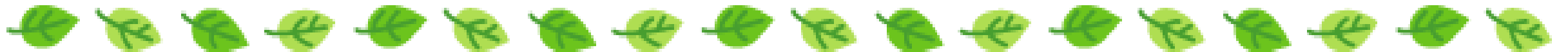
：ACPについて発信していく

医療機関に対して：ACPを勉強していく

ケアマネージャーに対して：ACPを勉強していく



看取り支援の推進を図るために部会で
何を取り組むか？
(ACPを推進させるための最初の一步)

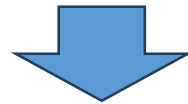


「地域の実情に応じた」具体策を展開することが必要！

関係機関・関係分野に「ACP」がどこまで浸透しているのか実態調査実施を実施



対象の実情に応じた啓蒙普及を展開



ACPシートの作成
(研修や小委員会で取り上げて作成することも一つ)



最終的にはアドバンス・ケア・プランニング
(人生会議)のパンフレット作成を目指す！

